



南部町立南部中学校 学校だより 第17号

# チーム南部中

令和3年12月15日(水)

校長 望月和彦

## より良い授業を目指して 英語の授業研究会

12月1日(水)千野彩佳教諭による英語の研究授業を行いました。三人称単数現在形の使い方について学ぶ単元「Unit6」の1時間目の授業でした。本校教職員や指導主事、町内小学校の先生など、たくさんの参観者が授業を観察するので、密を避けるために場所はランチルームで行いました。授業がはじまり



あいさつとウォーミングアップのあと、本文の内容を大まかに捉える活動を行いました。前半では、千野教諭やALTのロレンソ先生が本文に関わる質問を英語で行い、生徒たちが英語で答えます。後半は本文の内容を表した8枚の絵を本文の順番に並べ替える活動です。個人で考えたあと、小グループで意見交換しながら正しい順番を考えていきます。



Chromebookのジャムボードというアプリを使って、楽しそうに学習していたのが印象的でした。教師からの様々な指示も英語で行われていますが、予想以上に生徒たちは英語の指示を理解できていて、私が中学生だった頃と大きな差を感じます。小学校から会話を重視した英語教育が行われ、中学校でも「書くこと」重視の授業から、「話すことや聞くこと」が大切にされてきた成果だと思います。今回の授業では、一斉学習の部分でデジタル教科書の画像や動画を使って学習が進められ、グループ活動や授業の振り返りではChromebookが活用されていました。ICTの活用についても参考となる授業でした。授業後の研究会では、授業の良かった点

や改善点について参観者で意見交換し、総合教育センターの三枝指導主事、峡南教育事務所の成瀬指導主事からも貴重なアドバイスをいただきました。より良い授業づくりは学校の柱と考え、これからも取り組んでいきます。

## 生徒会のリーダー決まる

部活動では2年生を中心とする新チームが新人戦を戦い、3年生が中心になって創り上げた輝城祭や音楽発表会も大成功を収め、3年生は今、進路実現に向けて全力を注いでいるところです。南部中生徒会のリーダーも3年生から2年生に引き継がれる時期になりました。10月末に選挙管理委員会が組織され、生徒会役員選挙の取り組みが始まりました。今年度は会長に1名、副会長に2名が立候補し、定員と同数の立候補者となりました。無投票ですが、新たなリーダーが自分の考えや方針を全校生徒に伝えるために、12月8日に「立会演説会」が行われました。



会長候補の芦川圭澄さんは「日頃から常に気を張れる学校」を、副会長候補の鈴木湊羅さんは「全員が主役になれる学校」を、同じく副会長候補の依田大輝さんは「あたりまえの質が高く、意見・反応が活発な学校」を目指したいと訴え、そのような学校をつくるためにどんな取り組みをしていきたいかを全校生徒に熱く語りました。また、応援演説を行った佐野遥斗さん、中野綺萌さん、入月瑛大さんは、3名の立候補者にリーダーとしての大きな期待を抱いていることを全校生徒に伝えてくれました。

演説者だけでなく聴いている生徒たちの態度も立派でした。演説の後の質疑応答の時間には、学校や生徒会活動についての様々な質問が出され、全校生徒が良き南部中文化を継承し、さらにより良い南部中をつくりたいと考えていることを感じました。新しいリーダーを中心に生徒会が南部中文化をどのように発展させるか、とても楽しみです。

## 書写の授業に地域の方々の支援

3学期に行う「書き初め大会」に向けて、12月に学級ごと書写の練習を行いました。1年生は「希望」、2年生は「無限の力」、3年生は「天地清新」を行書で書きます。授業で2時間練習したあと、冬休みの中は家庭で練習し、本番に臨みます。今年度は授業中の練習に、国語科の望月美彦教諭と山本佳久教諭に加えて、福土にお住まいの望月紀枝さんと稲葉愛さんが学習ボランティアとして支援に入ってくださいました。望月さんと稲葉さんは、塾や学校で書道を指導してきた経験があり、教室の机の間を移動しながら一人一人に声をかけ、上手に書くためのポイントを教えてくれました。アドバイスを受けると、明らかに字の形が整い、迫力のある字になっていくのがわかりました。今学期は、2・3年生の授業に入っていただきましたが、1月の書き初め大会当日には1年生の教室に入ってくださいたく予定です。



## 「資源回収」町民の皆様 ご協力ありがとうございました

12月5日（日）にPTAと生徒会が中心になって「資源回収」を行いました。今年度は、アルカディア総合公園駐車場が使えなかったため、南部町医療センターの敷地をお借りして睦合地区と栄地区の収集場所にしました。朝7時過ぎから5箇所の収集場所（医療センター、給食センター、旧西市製材所、万沢支所、十島駅）に、たくさんの有価物（新聞紙・雑誌・書籍・段ボールなどの古紙、牛乳パック、アルミ缶、古着など）が集まりました。生徒や保護者、教職員ばかりでなく、この行事にはたくさんの一般の町民の方々が協力してくださっています。この日のために何ヶ月も有価物を家で保管してくださったり、自宅の車で収集場所に有価物を持ち込んでくださったり、「町民の皆様を支えられている中学校である」ということを実感させられます。今年度の収益金は202,000円。町民の皆様の温かい気持ちによって得られた貴重なお金です。学校の教育環境整備や部活動支援、生徒会活動補助等に大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。



## 「音楽発表会」について 保護者からの感想

- 今年の音楽発表会は3学年すべての発表を見ることができて良かったです。やはり学年が上がるにつれて成長や表現力も増し、その一生懸命歌う姿に感動しました。2年前にはまだ恥ずかしさ混じりで歌っていた今の3年生が、体を大きく揺らし、胸一杯息を吸って歌う姿を見て、子どもたちの心と体の成長を感じることができました。
- 何年かぶりに南中生の合唱を聞かせていただきましたが、先輩方の伝統を引き継いだ素晴らしい合唱だったと思います。特に男子の歌声は安定感のある質の良さが心地よく（特に3年生）聞き入ってしまいました。どの子も真剣に集中していて、一生懸命取り組んできたことがよくわかりました。（略）今年の1年生の完成度は素晴らしいと思いました。3年生になった時が今から楽しみです。
- 各学年、学級の特徴が表れた大変楽しめる、そして練習の苦悩、苦心を感じながら本日に臨んだ頑張りを感じることでできる音楽発表会でした。自然に体がリズムを取り、音楽のとらえ方、合唱としてのまとまり感、すばらしかったです。3年生の感情のこもった歌声は圧巻でした。最高です。2年生は昨年よりさらに歌声、響きが頼もしくなってきました。（略）
- （略）妻が撮影したビデオで本日の音楽発表会を拝見いたしました。一言で言わせていただくと、本当に感動いたしました。1年生の合唱は一生懸命さが伝わってくるもので、学年らしさがでていました。3年生の合唱には心を打たれるものがありました。うまく表現できないのですが、純粹にまっすぐ練習に取り組んできたことが全て出し切れているような発表でした。こんな素晴らしいイベントに参加できず残念です。

※この他にもたくさんの心温まる感想をいただきました。全てを掲載したいのですが、紙面の都合で掲載できません。ご協力ありがとうございました。